

OSC 2016 TOKYO/SPRING

# THE OSS OUTLOOK

Ryo Fujita <[rfujita@redhat.com](mailto:rfujita@redhat.com)>  
Evangelist, Solution Architects, RHCE  
Red Hat K.K.

# SUBSCRIPTION

- 世界最初のOSS上場企業・レッドハットのモデル
- 創業者・Bob Young
  - みんなダウンロードするの辛いやる?(意訳)
  - CD-ROMにして実費で売ったる(意訳)
- ロゴ



redhat®

2,000ドル (当時)

# SUBSCRIPTION (続き)

- ・ ソフトウェアの「サポート」に課金(マネタイズ)
  - ・ GPLだからといって課金できないわけではない
  - ・ GPL / EULA / EAの組み合わせ
    - ・ Enterprise Agreement
- ・ スケールメリットが大きい
  - ・ たくさん売れると1本当たりのサポート費用は無限に小さくなっていく
- ・ 売り上げが右肩上がり
  - ・ 昨年売ったのと同じ本数の更新
  - ・ 今年売った分を上乗せ

# ADVERTISEMENT

- Googleのモデル
  - 「世界中のウェブサイトを検索出来るように」
    - みんな「出来るわけないwww」
    - ぐるぐる「出来たで」
- 検索結果に連動する広告を提供
  - 広告によるマネタイズ
  - 今は広告だけではない
- Twitter, Facebookもこれに近い



# SERVICE

- AWS、Azure等々
  - OSSを使ってサービスを提供
  - サービスの利用に課金(マネタイズ)
    - 従量課金がメイン

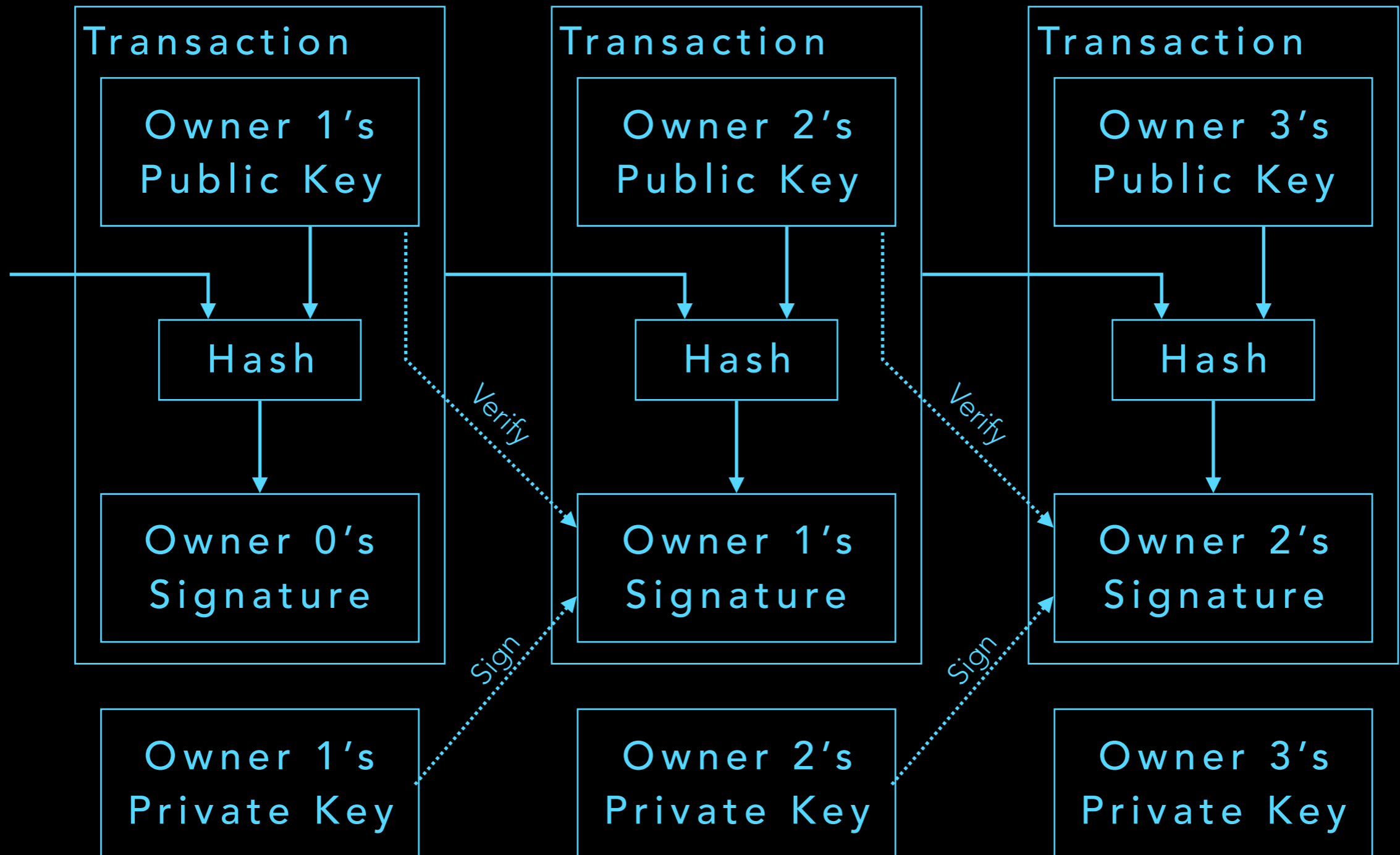
The screenshot shows the Azure portal interface for creating a virtual machine. The main content area is titled 'サイズの選択' (Size Selection) and displays three size options: A2 Standard, D2 Standard, and DS2 Standard. The A2 Standard option is selected and highlighted in blue. Below the size selection, there is a table of specifications and prices for each size.

A2 Standard	D2 Standard	DS2 Standard
2 コア	2 コア	2 コア
3.5 GB	7 GB	7 GB
4 データディスク	4 データディスク	4 データディスク
4x500 標準 HDD	4x500 標準 HDD	6x400 標準 HDD
負荷分散	100 GB ローカル SSD	14 GB ローカル SSD
自動スケール	負荷分散	負荷分散
自動スケール	自動スケール	自動スケール
11,079.65 JPY/月 (標準)	14,570.50 JPY/月 (標準)	14,570.50 JPY/月 (標準)

# CRYPTOCURRENCY

- **Bitcoin**
  - **実装は全てOSS**
    - **bitcoind、各種ウォレット**
    - **githubにだいたい揃ってる**
  - **トランザクションの塊 = 通貨**
    - **トランザクションの実装はBlockchain & bitcoinプロトコル**
  - **OSSが通貨そのもの**

# BLOCKCHAIN







# WRAP-UP

- ・ OSSのマネタイズは時代と共に進化
- ・ マネタイズの方法の選択
  - ・ ターゲットとなるマーケットのサイズ・レイヤー
- ・ OSSのコモディティ化
  - ・ どーせOSSしか無くなる